



福島県立医科大学泌尿器科学講座開講50周年

50年の歴史

- 1966年12月.....皮膚泌尿器科学講座から泌尿器科学講座を分離独立する案が可決
- 1968年2月8日.....本講座初代教授として北海道大学の黒田一秀教授を選出
- 1968年3月1日.....泌尿器科学講座の開講
- 1969年4月.....インターンを終えた伊達智徳、今村巖が入局
- 1971年12月.....第三内科と合同で福島腎臓病研究会(今の福島腎不全研究会)を創設
- 1972年8月27日.....第1回福島泌尿器科集談会(今の福島泌尿器科研究会)を開催
- 1973年3月.....教授・黒田一秀が退任
- 1973年4月1日.....第二代教授として弘前大学から白岩康夫が着任
- 1978年3月14日.....伊達智徳が、講座開設以来初めての学位取得
- 1980年10月17~18日.....日本泌尿器科学会第45回東部連合総会を主催(福島県文化センター)
- 1984年1月.....秋田大学から山口脩が講師として着任腎移植を初めて実施
- 1990年10月.....ベトナム・ハノイ病院から血液透析視察団が1ヶ月滞在
- 1992年5月14日.....第5回老人泌尿器科研究会を主催(福島県文化センター)
- 1993年6月12日.....講座開講25周年記念祝賀会を開催(ホテル辰巳屋)
- 1994年10月14~15日.....第1回日本神経因性膀胱学会を主催(福島県文化センター)
- 1995年3月31日.....第二代教授・白岩康夫が退任
- 1996年4月1日.....第三代教授に山口脩が就任
- 1999年6月14日.....本邦第3例目の脳死腎移植を実施
- 1999年7月10日.....第10回日本夜尿症学会学術集会を主催(福島テルサ)
- 2007年6月23~24日.....第9回日本女性骨盤底医学会を主催(バルセイいざか)
- 2007年10月4~6日.....第14回日本排尿機能学会を主催(ホテルリステル猪苗代)
- 2011年3月11日.....東日本大震災発生
- 2011年3月31日.....第三代教授・山口脩が退任
- 2012年5月1日.....第四代教授として名古屋市立大学から小島祥敬が着任
- 2013年2月12日.....ロボット支援前立腺全摘除術を初めて実施
- 2014年3月12日.....病院長特別表彰を受ける
- 2017年11月.....腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術が先進医療Aとして認定
- 2018年3月1日.....講座開講50周年
- 2018年7月21日.....講座開講50周年記念祝賀会を開催(ホテル辰巳屋)

■記念講演会/7月21日 ホテル辰巳屋(福島市) ※招待者、関係者のみの記念式典です

- ・記念講演Ⅰ 日本泌尿器科学会東北地方会運営委員長 国立大学法人 弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座教授 大山 力
- ・記念講演Ⅱ 一般社団法人日本泌尿器科学会理事長 国立大学法人 神戸大学大学院医学研究科 腎泌尿器科学分野教授 藤澤 正人
- ・記念講演Ⅲ 公立大学法人 福島県立医科大学理事長兼学長 竹之下誠一

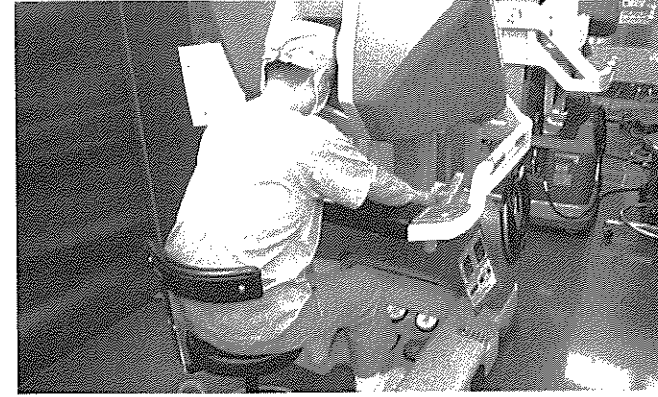


歴代教授紹介

- 初代教授 黒田一秀(1968~1973年)
- 第二代教授 白岩康夫(1973~1995年)
- 第三代教授 山口脩(1996~2011年)
- 第四代教授 小島祥敬(2012年~)



福島県立医科大学泌尿器科学講座の医局員



東日本で初めて導入された当時最新型の手術支援ロボット「ダヴィンチSi」の操作風景



ごあいさつ

公立大学法人福島県立医科大学
理事長兼学長 竹之下 誠一

本学医学部泌尿器科学講座が開講50周年を迎えました。半世紀にわたる歴史を積み重ねることができたのも、ひとえに関係者の皆様のご尽力と県民の皆様のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

泌尿器科学講座は、積極的な研究、真摯な教育と丁寧な診療の積み重ねにより本県の医療発展に貢献してまいりました。2013年2月に東日本で初めて手術用ロボット「ダヴィンチSi」を導入し、それ以来、精力的にロボット支援手術をおこなっていることは、その象徴といえます。

本学は、今後も福島の医療発展に力を尽くすことはもちろんのこと、世界をフィールドに、さらにワンランク上の研究、教育、診療を目指してまいります。そして泌尿器科学講座は開講50周年のこの日を、そのトップランナーとして新たな医療を切り拓き、県民の皆様により良い医療を提供し続けることが使命であると再確認する機会にさせていただければと思います。



ごあいさつ

公立大学法人福島県立医科大学
泌尿器科学講座主任教授 小島 祥敬

福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座は、昭和43年に黒田一秀初代教授が着任して以来、白岩康夫二代目教授、山口脩三代目教授と引き継がれ、本年が50年の節目の年となりました。当講座開講50周年を迎えるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

少子高齢化社会を迎え、県民の皆様の健康を守り、国内一の健康長寿県を実現するために、私たちの果たすべき責務は極めて大きいと感じております。特に都市部への医師の集中や東日本大震災により、福島県の泌尿器科医の数は決して多くはありません。私たちはこの現状を打破するために、将来の福島県の医療を担う医学生の教育と若手医師の育成に全力を注いでおります。また先進的かつ質の高い医療を県民の皆様にご提供すべく、日夜努力を続けております。県民の皆様には、今後ともさらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

福島県立医科大学泌尿器科学講座の取り組み

福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座では、小児から高齢者まで男女を問わず様々な泌尿器疾患で悩まれている方へ、最新かつ安全・安心な医療をご提供できるようにスタッフ一同診療に励んでおります。特に、前立腺がん・腎臓がん・膀胱がんなどの悪性腫瘍、前立腺肥大症や過活動膀胱などの下部尿路機能障害、腹圧性尿失禁や骨盤臓器脱などの女性泌尿器科疾患、腎移植、男子不妊症、停留精巣や先天性尿路疾患などの小児泌尿器科疾患などの診療に力をいれております。また低侵襲手術(患者さんに優しい手術)として、腹腔鏡手術やロボット支援手術に積極的に取り組んでいます。特にロボット支援手術に関する業績については、日本国内のみならず、海外でも高い評価を得ています。

腎移植については、1999年に全国で第3番目の脳死からの移植に成功し、現在、生体腎移植、特に透析前に行う先行的腎移植、

公益財団法人
星総合病院
泌尿器科部長
亀岡 浩
病院長
野水 整

十 福島赤十字
院長 渡部
TEL(0)4(5)5114
福島市入江町

一般財団法人 大原記念財団
大原総合病院
理事長 平子 健
院長 佐藤 勝彦

福島市医師
会長 岡野
TEL(0)4(5)5114
福島市森合町一

福島県医師
会長 佐藤
TEL(0)4(5)5114
福島市新